

第5回 水端かわまちづくりWGの開催結果	
日 時	平成25年2月19日(火) 14:00~16:00
場 所	亀岡市役所 2階 202・203会議室
出席者	<p>京都学園大学バ 付環境学部 准教授 大西 信弘 グループ長 保津町自治会 自治会長 塚田 勇 副グループ長 保津町まちづくりビジョン推進会議 会長 石川 清之 中野 恵二 亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長 伊豆田 進</p> <p>(欠席7名)</p> <p>京都府南丹土木事務所 南丹農業改良普及センター 木村副所長、樋本主査 京都府南丹土木事務所 企画調整室 田村副主査 " 河川砂防室 井尻副室長、青木副主査</p> <p>亀岡市 夢ビジョン推進課 俣野課長 " 都市計画課 森課長 " 都市整備課 的場係長 " 桂川・道路整備課 並河課長、柴田参事、関口係長、竹村主査</p> <p>(欠席2名)</p> <p>(順不同、敬称略)</p>
内 容 (次第)	<p>1) 開 会 2) 議 事 ○前回の振り返り ○左岸基本計画(案)について ○他のワーキンググループの検討状況について ○運営・維持管理について ○意見交換 3) 閉 会</p>
結 果	<p>○このWGとして左岸側の土地利用計画の案をまとめた ○今後は主に運営・維持管理を検討していくことになるので、WGの再編も含めて検討する ○整備に向けて事業手法などの検討が必要なため、当面は高水敷の緑化や水路への通水などの 試行を行いつつ、除草作業を続けて高水敷を自由に利用できる環境に維持することを目指す</p> <p>(主な意見)</p> <p>【左岸基本計画(案)について】 <広場の地面の仕上げについて> ・子供が転んでも痛くないような安心して遊べる状態にしたい ・昆虫などは特定の植物しか食べないので、地元の生物が生息できるような植物を選ぶことも 考慮してはどうか</p> <p><じゃこ田・水路の保水力について> ・現状のままでは排水性が良すぎて水が溜まらないのではないか ・田んぼから泥水が流れてくることによって、自然と水が溜まる環境になるかもしれないの で、現状のまま試行してみてはどうか</p> <p>【全体計画(案)について】 <駐車・駐輪スペースについて> ・もともと面積が小さいエリアもあるため、駐車・駐輪スペースによって残りの面積が極端に 狭くならないよう、具体的な面積を含めて検討した方が良いのではないか</p>

【運営・維持管理について】

<多目的広場エリアについて>

- ・広場内で利用方法が混在していると、利用中の事故が起こる可能性があるのではないか

<運営に向けた進め方について>

- ・運営・維持管理を組み立てプロデュースしていくことが一番大事なので、まずは自分達ができる得意分野から形にしていくことが必要ではないか
- ・何かテーマを掲げ、企業のCSR活動とも連携して情報発信を考えてはどうか
- ・亀岡市の水が全て集まってくるエリアであるので、環境に配慮した取り組みを発信する場所として適しているのではないか

<除草について>

- ・セイタカアワダチソウなどの勢力の強い外来種が育つ前に、除草の頻度を高くすれば、自然と草原のような状態になるのではないか
- ・除草作業を行う上で石が支障になるので、まず石を沈圧したほうがよい

<他団体との連携について>

- ・従来から高水敷や山本浜を利用している京馬車やラフティングの運営団体などと連携して運営・維持管理について議論できる機会を設けてはどうか
- ・市内のスポーツ団体からはこの計画への期待も寄せられているので、利用と併せて維持管理もしてもらえるように働きかけていくとよいのではないか

